



番外編(其ノ壱) 門前川目鑑橋

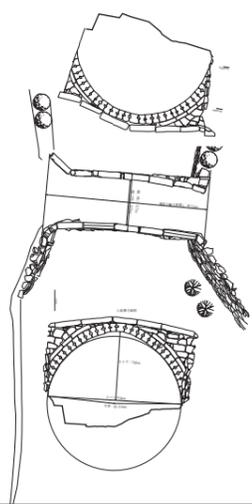
木倉にある門前川目鑑橋が熊本県の重要文化財に指定されることになりました。今回は番外編として門前川目鑑橋について書きたいと思えます。指定に必要な調査から書類提出までは私が役場を退職するまでの間に何とか終わらせたいと思っていたもので、申請書を提出し、後任に引き継いだりも気になっていた事案でした。このたび指定の運びとなり、ほっとしています。

さて、町内にある石橋と言えば、八勢目鑑橋や下鶴目鑑橋が思い浮かびますが、門前川目鑑橋が実は県下でも最も古い部類の石橋であること、工法についても非常に珍しいものであることについてはあまりご存じないのではないのでしょうか。

橋は、西往還から上野に至る道中、木倉小学校の手前にあります。アーチ側面に見える輪石と輪石の間に石が挟まれている点、輪石の外側に湾曲した板状の石を沿わせることで二重のアーチに見える点は、町内にある他の石橋とは異なる最も大きな点です。石楔(タボ石)工法と呼ばれるもので、輪石を連結する際、隣接する輪石との間に石を楔のように噛ませることで安定させる方法と言われています。県内での工法を採用する石橋は



▲御内意之覚



門前川目鑑橋実測図▶

珍しく、県下でも北部に点在する程度です。長らく門前川目鑑橋の建造年代については不明とされており、他の石橋と同じ時期に位置づけられていたこともありませんが、永青文庫の資料の中に木倉手永惣庄屋光永圓右衛門の功績について書かれたものがあり、その中の一つに西木倉村往還筋の目鑑石橋について記述されています。この資料が決め手となり、文化5(1808)年に建造されたことが明らかとなりました。その資料については奥田盛人氏の「元禄・嘉永井手物語：神の水は流れるにも収録されています。

アーチ橋として県内で最も古いものは、旧鹿北町にあった日渡洞口橋(天明年間建造、1993年に流失)、次いで旧長陽村の黒川眼鏡橋(1782年建造、1953年に流失)、旧植木町の豊岡眼鏡橋(1802年建造)、門前川目鑑橋(1808年建造)となっており、県内で4番目、現存するものとしては2番目に古いものとされます。これらの橋は全て石楔工法によって建造されたものです。

次回ではそれぞれの橋について工法や外見から解説したいと思います。

(御船町文化財保護委員 橋口剛士)

子育て日記



長女・杏季ちゃん(4歳)
長男・隼汰くん(1歳)

パワフルな子どもたち!

最近ではずいぶん気候も良くなり、お出かけしやすい季節になってきました。近くの公園に出かけるとお姉ちゃんの杏季が少し短めのすべり台を見つけて、弟の隼汰を抱っこしながら滑ってくれます。

姉4歳。弟1歳。去年の今頃は幼稚園に入園したてだったお姉ちゃん。弟はまだハイハイをしていました。この1年で2人ともグッと成長しました。上の子は、あーいえばこーいうお年頃ですが弟の面倒をよく見てくれるしっかり者のお姉ちゃんになりました。下の子は、レジでお支払いをしている一瞬でも逃走してしまうので目はなせませんが、マイペースにたくましくなりました。今年の4月からは、年中さんへ進級、保育園へ入園し、それぞれが更にパワフルになってくれる事でしょう。母も負けなように体力をつけたいと思います!これからも、元気に仲良くね!

(文・写真/高木・杉本実幸お母さん)

BOOK おすすめ 今月の本

ジャスミンの残り香

「アラブの春」が変えたもの
田原 牧 著

この出来事は日本人にとっても、決して対岸の火事ではない。三十年近くにわたり、アラブ世界を見続けた気鋭のジャーナリストが中東民衆革命の意味を問う!「革命」は徒勞だったのか。



ナイルパーチの女子会

袖木 麻子 著

ブログがきっかけで偶然出会った大手商社につとめる栄利子と専業主婦の翔子。互いにより友達になれそうと思ったふたりだったが、あることが原因でその関係は思いもよぬ方向に一。女同士の関係の極北を描く、傑作長編小説。



新刊書情報

- 4月は54冊の本が入りました
- 一般書(15冊)
 - 小説/火花 (又吉 直樹 著)
 - 小説/岳飛伝+天雷の章 (北方 謙三 著)
 - エッセイ/今日も嫌がらせ弁当 (ttkk 著)
 - 児童書(39冊)
 - 鑑/たくさんあそぼう!あやとりすかん (大泉書店編集部 著)
 - 鑑/光のモンスター超図鑑 (三輪 清宗 著)
 - 鑑/のりもの日本一周! (小賀野 実 著)



はたらくロボットのみみつ
学研まんがでよくわかるシリーズ100

社会科見学がきっかけで、ロボットのこともっと知りたい!と思っていたヒカル。同級生のミライのお父さんが「ロボットがロボットをつくる様子をみたいかい?」というので、最新のロボット工場をたずねてみることにしたけれど…。

人間は体内時計の働きによって、朝になると目が覚め、日中は活動し、夜になると眠くなるという生体リズムを調整しています。体内時計は地球の自転周期(24時間)より少し長めにセットされているので、自転と生体リズムの誤差を毎日リセットする必要があります。

●体内時計の乱れが引き起こす症状や病気
体内時計は、血圧や血糖、ホルモン分泌、免疫力などを調整しているため、体内時計がうまく働かないと、さまざまな症状や病気を引き起こします。

体内時計の乱れで起こりやすい症状	体内時計の乱れで発症しやすい病気
不眠、疲労感、倦怠感、食欲低下、集中力低下、肌荒れ、やる気が出ないなど	高血圧、糖尿病、脂質異常症、脂肪肝、肥満症、がん、自律神経失調症、睡眠障害、うつ病 など

- 体内時計のリセットの仕方
- 太陽の光を浴びる
太陽の光の刺激で脳の時計はスタートします。起床後すぐにカーテンを開けて太陽の光を浴びましょう。
 - 朝食をとる
朝食を摂ることで内臓の時計はスタートします。起きて2時間以内に朝食を摂りましょう。
 - 規則正しい生活
日によって起床時間や食事時間が大きく違っていると、体内時計がズレやすくなります。同じ時間に同じ行動を行うことで、体内時計が調整しやすくなります。

健康へのヒント

体内時計の調整は、健康への第一歩!